



自分で守る命、周りを大切にすること

岩内西小学校長 古館 昭仁

雲から覗く暑い日差しに夏を感じる季節となりました。今年度は、全道、全国で児童生徒の交通事故がニュース等で報じられることが多いと感じていました。5月下旬の保護者宛の安心メールに道警のリーフレットとともに注意喚起をしました。町内でも今月幼児が巻き込まれる痛ましい交通事故もありました。本校でも、公園等のボール遊びの際の道路への飛び出しや保護者の方からの横断歩道でない所での横断等、運転者側から見て、危険と思われる行動への情報提供があり、先日、指導をしたところです。

交通安全指導は、これで終わりということではなく、機会を見て定期的に指導を続けていく必要があります。その際に大切にしたいことは、命の大切さという視点として、「いかに子どもに考えさせるか」ということが大事だと思います。言われたことを確実に実行することも大切ですが、「どうしたら自分の命を大切にできるのか」を考えさせ、よりよい方法を身に付け、実践させていく。これが一番効果的な指導になると思います。「自分の命を大切に」できるようになると、同様に「他の人の命(こと)を大切に」していこうということにつながることで、自分と同じように他の人(自分の周りにいる人)のことを考えた行動ができるようになると思います。

20日の全校朝会では、岩内警察署の方に来校していただき、校外生活の過ごし方として、お店のものを勝手に持ち帰る万引き(窃盗)は決していけないことであるというお話をしていただきました。どの子ども最後まで耳を傾け、真剣にお話を聞いていました。「周りの人に迷惑にならないような行動をする」「自分がよければ、他は関係ないという考えはいけない」という話でした。これを良い機会にして、自分のことも大切に、そして、それと同じくらい、周りの人も大切にできる西小の子に成長させていきたいです。

☆運動会から新体力テストへ☆

6月1日の運動会にはお忙しい中ご来場いただき、誠にありがとうございました。地域や保護者の方が多数応援に来ていただいたことが励みとなり、徒競走、表現、全員リレーと、自分の持てる力を最大限に生かすことができたと思います。運動会が終わった週より、新体力テスト行いました。運動会の練習で体を動かすことが慣れてきたこの時期に行うことで、子供が持っている実力を十分発揮できるようにしています。また、どの学年も前年度の自己記録を参考に各自、目標数値を設定し、それを超えるよう張り切って行いました。結果は後日にお知らせします。



↑ 見守り隊の金澤さんが学校に寄贈いただいた「おたまじゃくしとサンショウウオ」が大きくなりました。子供たちはよく観察していたようです。この度、カエルになるまで無事に成長しましたので、当初の約束通り、金澤さんに返却いたしました。

サンショウウオも大きくなり、足や手が生えてきました。貴重な体験をありがとうございました。

